

2023
4月

Sasaiレポート

発行/佐佐井株式会社
北九州市小倉南区上曽根新町 2-25
☎093-472-1335
FAX 093-472-1790
http://www.bf331.com

輸入小麦の売り渡し価格 4月以降の値上げ幅は5.8%に

2023年4月以降、政府が輸入した小麦を製粉会社などに売り渡す価格が正式に発表され、ロシアのウクライナ侵攻による価格高騰の影響が大きかった期間を除き、直近半年間の買い付け価格で算定することで値上げ幅は5.8%になります。

去年からことしにかけては、ロシアによるウクライナ侵攻などで買い付け価格が高騰したため、政府は去年10月の見直しを行わず、価格を据え置いていました。

発表によりますと、4月以降の売り渡し価格は5.8%値上がりし、過去最高の1トン当たり7万6750円になるということです。

直近1年間の買い付け価格で算定した場合、1トン当たりの売り渡し価格は8万2060円、値上げ幅は13.1%となりますが、ウクライナ侵攻などによる価格高騰の影響が大きかった期間を除き、直近半年間で算定することで値上げ幅を抑えることにしました。

ただ、値上げ幅を抑えた分は国が負担する形となり、その額はおよそ100億円に上るとのことです。

輸入小麦の売り渡し価格は今の制度となってから過去最高になり、今後、パンやめんといった小麦粉を原材料とする製品のさらなる値上がりにつながる事が予想されます。

ロッテリアも売却 鬼門の外食

ロッテ、ゼンショーに全株譲渡

ロッテホールディングス（HD）は16日、子会社でハンバーガー店を運営するロッテリア（東京・新宿）をゼンショーHDに売却すると発表した。マクドナルドの日本1号店の翌年となる1972年に創業。店舗数では国内3位だが、マクドナルドやモスバーガーの壁を越えることはできなかった。これまで何度も拡大を志向しては壁にぶつかったロッテの外食事業は転機を迎える。

ロッテHDはロッテリアの全株式をゼンショーHDに4月1日付で譲渡する。「ロッテリア」の店舗名は一定期間は維持するが、将来はブランド名が変わる可能性がある。ロッテリアの店舗数は358店（1月時点）で、バーガーチェーン3位に位置する。売却額は非公式。海外のロッテリアは引き続き韓国ロッテが運営する。

—日経 MJ2023.2.20—



すかいらーく、ヤムチャ専門店

女性取り込み 客単価1900円想定

ファミレスチェーン最大手のすかいらーくホールディングス（HD）はヤムチャの新業態店を2月1日に開く。食べ放題メニューなどを取りそろえ、ゆったりとした空間で女性客の取り込みを図る。まずは南関東を中心に展開し、2024年以降全国に広げていく。ファミリーレストランの業態転換先としても活用し、売り上げを向上させる狙いだ。

店名は「飲茶 TERRACE『桃菜』鶴川店」（東京都町田市）だ。小籠包、中華風コーンスープ、ルーローハンなど約50種類の料理を用意した。本格的な茶葉を厳選した中国茶も複数取りそろえる。

23年には南関東を中心に業態転換を含めて20店舗を出店する予定だ。梅木郁男執行役員は「業態転換を通じてファミリーレストラン業態には来店していなかった商圏内の顧客も取り込んでいきたい。業態転換した場合には単一店舗としての売り上げを1.5倍にしたい」と意気込む。

—日経 MJ2023.2.1—

